

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立開平小	学校
---------	----

児童数	87
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93		
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43		
全国	15.63	18.34	37.03	35.23	51.29	9.39	149.19		
女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34		
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41		
全国	14.94	16.18	40.18	34.34	31.42	9.97	134.94		

結果の概要

実施した7種目のうち、女子は、「長座体前屈」については大阪市及び全国平均を上回ったが、その他の種目では、大阪市及び全国平均を下回った。一方男子では、「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「50m走」で大阪市及び全国平均を、「立ち幅とび」では大阪市平均を上回ったが、その他の種目については、平均を下回った。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、肯定的な回答をする男子は97.4%と大阪市及び全国平均を上回り、女子は75.7%と大阪市及び全国平均を下回った。しかし、肯定する回答をした女子の割合は62.2%と大阪市及び全国平均を上回った。

「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」については、男子は8.6%で、女子は10.8%で大阪市及び全国平均より割合が低かった。さらに「1週間の総運動時間が60分から420分未満の児童生徒の割合」が男子は57.1%、女子が73.5%と大阪市及び全国平均よりも割合が高かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校の運動場は狭く、体育館と運動場の使用に加え、屋外での運動時間確保とより広い運動スペースを確保するために、学校から徒歩15分ほどの場所にある第2運動場を使用しており、計画的な運用を図りながら、体力向上に努めている。

また、児童数も増えていることから休み時間は、運動場・体育館・かいへいオアシス（中庭）・かいへいそらっば（屋上広場）を学年ごとに割り当てて使用し、運動の機会を設けている。また、様々な方法で体を動かすことができるように限られた運動スペースでも活用できる遊具を増やし、児童の運動意欲の向上をねらった取組みも行った。

今年度もASUEアリーナを借りてスポーツフェスティバルを行い、学校では確保できない広い空間で走り、様々な競技を行う様子をそれぞれの学年で参観できる機会も設けたことで、全校児童が運動に目標や高い意欲をもって取り組むことができた。

ほかにも、持久走記録会に向けて持久走週間を設け、休み時間に走って持久力を高める機会を設け、目標をそれぞれがもって積極的に運動に取り組んだ。

本年度の結果から、男女ともに大阪市及び全国平均より割合が「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」は低くなり、「1週間の総運動時間が60分から420分未満の児童生徒の割合」は高くなり、児童一人一人の運動時間が増えたことがわかった。

これは、学校を全体で体育的行事を行ったことや、休み時間の充実を図ったことが結果につながったと考えられる。

今後も限られた運動スペースの中での活動工夫を続け、児童の運動意欲を高められるような取組みを継続して行っていく。